

「兵庫運河周辺地域のまちの将来像(案)」に対する意見募集結果について

テーマ	意見の概要	意見に対する考え方
将来像のとりまとめ(全般)について		
1	<p>パンフレットの文面が固すぎる。内容が難しい。運河の史的背景が書かれているが、活用については、具体的に書かれていない。○×のアンケート方式をとったほうが、わかりやすい。</p>	<p>運河の活用については将来イメージに示しており、今後の具体化については、協議、要望していくこととなります。 なお、今回の意見募集は、様々な意見を頂戴いたしたく、記述式とさせていただきます。</p>
2	<p>「スポーツレクリエーションゾーン等、既存及び運河開発設備を一体的に」とあるが、相互依存関係はこじつけとも考えられる。運河独自でも成り立つ案であるべきでしょう。清盛ブームも大きなものでもなく一過性期待薄。</p>	<p>この将来像では、「兵庫運河のさらなる活用」として運河そのものの利活用を取組みのテーマとしており、水面利活用の促進や親水性の向上を掲げています。 加えて、運河だけでなく運河周辺地域の特徴あるゾーンと相互に連携することも活性化に不可欠と考えております。ホームズスタジアムだけでなく、平清盛関連史跡をはじめとした歴史資源も大きな取組みのテーマとして位置づけております。</p>
3	<p>兵庫南地区の地盤沈下とインナーシティーの問題を改善しようという試みには大部分は賛成します。 ただ、この地域を、よそからも人を呼び寄せる観光地(北野町、南京町、ハーバーランド等)にするのか、神戸市民の憩いの場程度のものなのか。希望としては、前者のほうがですが。</p>	<p>この将来像では、兵庫運河を中心に緑にあふれた憩いの水辺空間とし、またイベントの開催や地域資源の活用により、観光・集客による活性化を目指しています。 検討の中では、「まずは住民が兵庫運河を楽しめるように」といった意見が出されています。</p>

水面利用の促進について	
4	水面利用についても、既にあるレガッタや真珠貝の養殖エリアのように、中央市場跡地北側のエリアにはボート遊びができるようにするなど、それぞれのエリアを活かした活用方法はいくらかでも考えられると思う。
5	「旋回橋」があることで大型遊覧船の運航が出来ないとのことだが、運河は干満の差が1m以上はあり、運河の底には汚泥があり浚渫の必要に迫られる。そこまでお金をかけても観光客が来てくれるとは限らない。また今でも休日にプレジャーボートが走り回り、騒音や衝突の危険が増す。また運河の水面利用として「真珠の養殖」が行われている、それに悪影響を与えないだろうか。 そこで、手漕ぎボートの導入をしてはどうか、旋回橋もそのままよし、エンジンがないから周辺住民への騒音の心配もなし、カッター場もあることだしよいと思う。
6	水面の利用に関して * 乗船体験・ボート遊び 原案賛成。すぐにでもできる。 * 子供達が将来よい思い出に残る体験ができること 人口汀(ビオトープ)、釣コーナー、水浴コーナー
7	パドルボードは、ハワイや湘南をはじめ、全世界で大注目のマリンスポーツで、誰でも簡単にでき、安定の悪い水面で立っているだけで、バランス、インナーマッスルなどが鍛えられ、現在は、パドルボードの上でのヨガやエクササイズが、流行しています。特に初心者は波のある海よりも、波のない運河がとても良い練習場です。 誰もが楽しく、安全に、この様なマリンスポーツを楽しめるように、現在の汚い、臭い、許可が必要で有料、マナーの悪いジェットスキー、レガッタ練習の怒鳴り声等の状況を一日でも早く改善していただきたい。

この将来像では、「兵庫運河のさらなる活用」として運河そのものの利活用を取り組みのテーマとしております。
運河の水面利用については、まずは安全性を確保することが必要不可欠です。運河における不法係留やプレジャーボートの危険性に関する意見も出されており、みんなが安全に気持ちよく兵庫運河を利用できるように、現在、放置艇対策について議論を進めており、今後、水面利用のルールづくりやマナーの周知に取り組んでいく必要があります。
兵庫運河は、波や風の影響を受けにくく、誰もが安全に、安心して、スポーツ・レクリエーションが楽しめる場所として、レガッタやパドルボードが活動されています。こうした活動を展開しながら、さらなる運河の魅力を高めていくためにも、適正な保全と活用を進めていくことが確認されています。

◎遊覧船等の運航		
8	ハーバーランドが近距離に位置しているのだから、兵庫運河を利用してゴンドラ風な乗り物を浮かべる。それには、町の緑地化と運河の水を浄化し、景観の整備をもっと促進しなければならないと思います。神戸を観光の街として世界の人に認められるくらいにしてほしい。	<p>ワークショップでも、カヌー等による水上回遊ルートの設定、観光を主とした遊覧船や地元向けの水上バスの運航、さらには運河の背景としての緑の重要性に関する意見が出ました。カヌーやボートに限らず、遊覧船等の運航といった運河の水面利用の促進・回遊性の向上には、兵庫運河の緑化も含めた景観づくりや水環境の向上を図ることが重要であると考えています。</p> <p>また、遊覧船や屋形船などについては、誰が運航するのか、また需要があるのかという問題があります。ワークショップでも、運河沿いの企業の協力やスポンサーや広告を募集するといったアイデアも出されており、今後、運営体制も含めて、その実現可能性について研究していきたいと考えています。</p>
9	イオンがハーバーランド、旧中央市場跡、尻池の3カ所出来るはずですが、この3カ所を水上輸送する遊覧船(海底が見えるグラスボートetc.)の有料定期運行を行う。	
10	クルーズ観光等の安易な観光利用は避けるべきである。何を見せるのか。今は10の架橋と復活した魚影しかない。	
11	屋形船・遊覧船の運行 動線が短く効果は期待しがたい。スポンサーがない限り思いつきでは最終段階。	
◎運河支線		
12	高松橋から兵庫駅南公園までの運河支線は幅が狭く、果たしてボート等が回遊する雰囲気作りが出来るのか少々疑問に思う。	<p>この将来像では兵庫運河のさらなる活用をテーマに、取り組みのイメージを示しております。</p> <p>運河支線については、検討の中で「狭くて、なかなか行く機会がないので、探検クルーズを行うと面白い」「川崎重工業の0系新幹線とこだまを運河から見るツアー」といった運河支線の活用に関する意見が出され、実際にボート等による探検ツアーの実例もあることから、運河支線における水面利用の促進をめざした将来イメージを描いています。</p> <p>また、運河支線についても、兵庫運河の緑化も含めた景観づくりや水環境の向上を図ることが重要であると考えています。</p>
13	運河支線がなくても歴史的価値を損なう程度でなく、水質改善には支線存在は問題である。支線を埋め立て、むしろ企業に払い下げ、これを資金として活用できるのでは。	

運河沿いの回遊性の向上について（プロムナード・サイクリングロード等）		
14	<p>浜山から新河運河プロムナードまでに運河沿いに遊歩道を造り、桜や紅葉等、季節を感じる木を植える。 また、ベンチ等を設置し、憩いの場として利用する。 運河沿いにサイクリングコース等設ける。</p>	<p>ワークショップでは、まずは新川運河キャナルプロムナードと浜山小学校前プロムナードをつなげ、将来的には運河を周回できる並木道を整備していく意見が出されました。 それを受け、運河周辺のプロムナードをつなぐことにより、運河周辺の人の流れを活性化し、運河へのアクセス性を高め、兵庫運河全体の回遊性を高めていくこととしています。 また、プロムナードについては、散歩やジョギング、サイクリングを楽しんだり、四季を感じられる花や並木、休憩施設など市民の憩いの場をイメージしております。</p>
15	<p>高松橋～新川橋の運河沿いプロムナードとその対面からなるプロムナードをつくり、回遊性を持たせる。プロムナードの幅、外灯、ベンチ、植栽などを整備すればオープンな雰囲気がで、散歩やちょっとしたマラソン等に利用できる。まずは近隣住民が気軽に利用できる整備が必要と思われる。</p>	
16	<p>兵庫運河の周回路（プロムナード）を、可能な限り早く整備して欲しい。</p>	
17	<p>運河沿いが将来整備されてサイクリングロードとしてつながれば、きっと気持ちいいだろうと想像します。</p>	
18	<p>新川運河と浜山小学校前プロムナードを結ぶ散歩道をつくり、中間に休憩所を設け出店を作り、人が集まるようにする。</p>	

JR和田岬線について	
19	ワークショップで和田岬線存続の意見多数であったと思ったが、和田岬線の廃止を前提とした将来像イメージを作っているところが不可解です。本当に地域住民の意見は反映されているのでしょうか。
20	JR和田岬線の問題に関心を持つ住民の多数意見は、「運河と同じように、和田岬線を大事にしたい」ということだと実感しています。主として遊覧船を通行させるという目的のために、せつかくの地域の財産を引換えにするのは、バランスがとれないと感じます。水面・陸路の回遊性が必要なら、別の方法を考えて、運河と和田岬線の両方の存続・再生ができれば、一番いいのですが。
21	和田岬線を廃線しないで欲しいという意見の方が多はずだが、なぜ「廃止の場合」のイメージ図なのか。
22	JR和田岬線を廃線する論理的かつ明確な理由を示した上で原案を提示すべきであるし、それができないのであればJR和田岬線を存続・活用した場合の将来イメージを合わせて示し、現実と比較検討すべきである。
23	JR和田岬線廃線を大前提での将来像として受け取れました。JR和田岬線との乗り継ぎで兵庫駅を利用される人々は、大切な顧客です。和田岬線が廃止された後の人の流れを考えると、近い将来兵庫駅周辺地域の衰退となって、大きな損失に繋がるおそれがある。大都市の稀有なローカル線として存在し、百年親しまれてきた「和田岬線」を含めた兵庫運河周辺地域のまちづくりを、検討いただきたい。
24	兵庫駅ならびに和田岬駅前を実施した300名を超える和田岬線廃止反対の署名簿をJR西日本に預かってもらいました。こうした和田岬線廃止反対の声を重く受け止めていただきたい。 赤字の海岸線を、和田岬線廃止して利用客を振り向けようとしているが、今でも通勤時間帯は地下鉄の混雑があるのに、それ以上客を地下鉄に振り向けて事故がおきたらどうするか。責任をとれるのか。

兵庫運河周辺地域の活性化には、水面利用の促進や親水性の向上など兵庫運河のさらなる活用を図り、運河周辺の回遊性の向上や周辺資源の活用が必要であると位置づけております。

運河周辺の回遊性向上や水面利用の促進を図るには、JR和田岬線のあり方が一つの大きな要素であります。

ワークショップでは、JR和田岬線に関して「イベント列車の運行や昼間運行」「中間駅の新設」など、ご指摘と同様な意見もありました。このような意見対してJR西日本と協議を行いました。現在のご利用実態からご利用者の大幅な増加は見込めず、また大幅に増加する費用が課題となり、それらを前提とした『まちの将来像』を作成するには至りませんでした。

それ以外にも「運河の水面利用促進や回遊性の向上を図るには鉄道橋(旋回橋)が邪魔」との意見や「旋回橋は歴史的構造物であり、観光資源として利用すべき」などの意見もあり、JR和田岬線に関しては様々な意見が出ております。

こうしたことから、この将来像では、運河水面の利活用を図り、水面や運河沿いの回遊性を向上させ、にぎわいを創出していくというまちづくりの方向性に沿って、お示しできるイメージを作成したものです。

ただし、JR和田岬線のあり方は関係する企業や利用者など様々な関係者がいる中で、地域住民だけで決定することは難しいとの判断をしております。

25	JR和田岬線が「地域文化を分断する」や「回旋橋が運河水運を妨げる」などは偏見である。堂々と地下鉄海岸線の活用、黒字化を主張して、利用者である三菱重工、三菱電機と協議すべきで、住民の利用は無視して問題ないとする。	
26	和田岬線は現在の朝夕のみの運行では地元住民は昼間利用できませんし、運河全域の回遊性を考えると和田岬線がネックにはなりません。休日を含めた昼間の運行や清盛など歴史にちなんだ観光電車を走らせるなど工夫すれば、商店街の賑わいが戻るなど、存続での方向も考えられるのではないのでしょうか。	<p>兵庫運河周辺地域の活性化には、水面利用の促進や親水性の向上など兵庫運河のさらなる活用を図り、運河周辺の回遊性の向上や周辺資源の活用が必要であると位置づけております。</p> <p>運河周辺の回遊性向上や水面利用の促進を図るには、JR和田岬線のあり方が一つの大きな要素であります。</p> <p>ワークショップでは、JR和田岬線に関して「イベント列車の運行や昼間運行」「中間駅の新設」など、ご指摘と同様な意見もありました。このような意見に対してJR西日本と協議を行いました。現在のご利用実態からご利用者の大幅な増加は見込めず、また大幅に増加する費用が課題となり、それらを前提とした『まちの将来像』を作成するには至りませんでした。</p> <p>それ以外にも「運河の水面利用促進や回遊性の向上を図るには鉄道橋(回旋橋)が邪魔」との意見や「回旋橋は歴史的構造物であり、観光資源として利用すべき」などの意見もあり、JR和田岬線に関しては様々な意見が出ております。</p> <p>こうしたことから、この将来像では、運河水面の利活用を図り、水面や運河沿いの回遊性を向上させ、にぎわいを創出していくというまちづくりの方向性に沿って、お示しできるイメージを作成したものです。</p> <p>ただし、JR和田岬線のあり方は関係する企業や利用者など様々な関係者がいる中で、地域住民だけで決定することは難しいとの判断をしております。</p>
27	和田岬線は活性化のためにも駐車場を増やしてほしい。	
28	兵庫区運南地区のシンボリックな存在は、歴史が長く地域住民からも長く親しまれている「兵庫運河」と、もう一つの「JR和田岬線」であり、「JR和田岬線」を廃線する理由が全く見当たらないし、むしろ「兵庫運河」と「JR和田岬線」の両方のさらなる活用を図るべきである。兵庫区は縦に長く、同区内の地域交流や活性化を図る意味からも、むしろJR和田岬線は存続させて、兵庫運河周辺地域の住民のために活用し、JR兵庫駅周辺地域との回遊性を向上させることが最も大事であるとする。	
29	和田岬線の活用方策を考え、昼間この線でしか乗れない列車をはしらすとか、運河とのコラボで共存共栄できる行事を組むとか、途中に一駅つくるとか、皆の意見を出し合って有効利用を。廃線には絶対反対。	
30	JR和田岬線に関しては、どうも利用客の立場、また始発駅である兵庫駅の周辺のまちづくり、駅周辺の活性化と密接な関係がある、などがあまり考慮されていない様に思われます。兵庫駅が快速の停まらない駅になることは、兵庫区全体の不利益にもなります。利用者の立場からしても、和田岬線の廃止の方向での将来像には強く反対します。	

◎JR和田岬線の産業遺産としての活用		
31	JR和田岬線そのものが産業景観そのものである。旋回橋そのものも産業遺産と言える。	<p>この将来像では、運河水面の利活用を図り、水面や運河沿いの回遊性を向上させ、にぎわいを創出していくというまちづくりの方向性に沿って、お示しできるイメージを作成したものです。</p> <p>検討の中では、「JR和田岬線は歴史的な建造物であり残してほしい」との意見も出されており、旋回橋を含め和田岬線は貴重な産業景観・産業遺産と考えています。</p> <p>今後、将来像の具現化を図っていく中で、ご指摘の点も踏まえ検討していくこととなります。</p>
32	旋回橋は歴史的にも技術的にも貴重なものですが、なぜあるものを活用しないのでしょうか。	
33	運河につながる3地区だけでなく、兵庫区南半分も視野に入れれば、JR和田岬線の運河に架かる橋も逆に資源ととらえることが求められるのではないかと。	
◎JR和田岬線のプロムナード化		
34	和田岬線廃止を前提にした「眺望の軸」を書いているが、南北に交通の導線として車が多く通行している。今は踏切が5-6箇所あり、散歩ゾーンとしてもふさわしくないと思う。	<p>この将来像では、運河水面の利活用を図り、水面や運河沿いの回遊性を向上させ、にぎわいを創出していくというまちづくりの方向性に沿って、お示しできるイメージを作成したものです。</p> <p>将来イメージのように、JR和田岬線跡地にプロムナードが整備される場合、ご指摘のような意見も参考にさせていただきます。</p>
35	和田岬線のプロムナード化は和田岬駅～運河までは御崎公園との関係性を考えれば憩いの空間、広げたプロムナード、緑の空間が実現できるように思うが、運河以降～兵庫駅までのプロムナードは工場間にあるため、暮れ始めると陰気になるため何らかの工夫がいるのではないかと。	

歴史資源の活用について	
36	<p>この兵庫南部の活性化には、今有る施設を再確認、利用する事が一番と考える。社寺仏閣が沢山あり、兵庫津の道も整備され、以前とは見違える様に成りました。</p> <p>周辺地域には平清盛ゆかりの史跡をはじめとした多数の歴史資源が点在しており、検討の中でも、これらの魅力発信・活用に関する意見が出されました。今後、歴史ゾーンとしてサイン計画や景観面に配慮し、歴史・文化を発信していくことが確認されています。</p>
住吉橋について	
37	<p>橋の架け替えではなく住吉橋の橋桁の構造を利用するなどの専門的な造作・工夫で、歩行者と自転車の通行も可能とする「住吉プロムナード(仮)」の建設を提案する。単に「運河を渡る橋」として捉えるだけでなく、この橋に平面的な広さを持たせたスクエア(広場)としての機能を持たせる事にプラスして、高架下山側にレガッタ艇の格納庫と海側にレガッタ教室を併設する事で、現在のレガッタ活動で抱えている艇格納庫問題が解決し、教室の併設で高架下の暗くて乱雑なイメージも払拭できる。</p> <p>住吉橋については、高低差が大きい等の現状から、車椅子やベビーカー、自転車、お年寄りの方の利用者が渡りづらいため、ワークショップなどの将来像の検討に際しても住吉橋の整備に関する意見がありました。</p>
38	<p>南北を結ぶ中心の橋である住吉橋の歩道橋をフラットに、幅も広く、新設する方向でご尽力ください。(歩道橋のみを新設する) 特に車椅子利用の人達からは、隣の清盛橋も同様に兵庫駅方面への行き来が困難で困っているとの声を聞きます。</p> <p>全市的な橋梁整備については、災害時の緊急輸送路に架かる橋梁の耐震化を優先されており、兵庫運河周辺では新川橋の架け替えによる耐震化工事が行われたところです。</p> <p>住吉橋については、架け替えの計画はございませんが、南北方向の回遊性の向上は大きな課題であり、今後、JR和田岬線のあり方の動向もふまえながら、南北交通の検討を行いたいと考えています。</p> <p>なお、レガッタなど既存の活動を継続・発展させるためには、拠点の充実が必要であるとの意見も出されています。</p>
39	<p>南北交通問題では、運南地域と北部の間を運河をわたってつなぐメインルートの住吉橋が、特に歩行者、自転車にとってかなりのバリアとなっています。住吉橋の架替え・改修を、まちづくり計画に組み込んでいただきたい。</p>

にぎわいづくりについて(イベント等)		
40	ホームズスタジアムで、地域住民大運動会が開催されたら楽しいと思います。	<p>兵庫区では、毎年秋に「区民運動会」が開催されており、玉入れや二人三脚が行われております。</p> <p>この将来像では、ホームズスタジアムを中心にスポーツ・レクリエーションゾーンの核として、レガッタなど水上スポーツの拠点である浜山レガッタコースを中心に、緑の軸を一体的につなぐことにより、市民だけでなく地域内外の方も楽しめる空間とすることと位置づけています。</p> <p>ホームズスタジアムでの運動会の開催は一意見として、頂戴します。</p>
41	<p>四季を通じてにぎわいのあるまちを提案</p> <p>* 春: 運河兩岸に桜並木を配し、御崎公園と合わせて桜の名所を提案。水上カラオケ大会等開催</p> <p>* 夏: 水上花火大会の夕べ、水上に噴水装置、水上盆踊り大会</p> <p>* 秋: 文化(平家ピワ、講談等)、運動(県対抗レガッタ選抜)、食べ物(各県別うまい物店の開催)</p> <p>* 冬: 水上イルミネーションの夕べ、光と音のショー、水上クリスマスツリー等</p>	
42	<p>兵庫区の歴史的な遺産(有形・無形)として、大輪田の泊に象徴される清盛の功績として、清盛塚や雪ノ御所は知られているが、無形文化が少ないと思う。(琵琶演奏)</p> <p>* 平安文化を代表する雅な舞や雅楽、又は夜になるが松明の灯りの中での舞(宮島では灯籠の下海に月光をうかべて舞をおどっている)を、清盛橋付近で催す事により、キャナルプロムナードを含めて、にぎやかにできるのではないか。</p> <p>* 神戸新聞で運河博(尼崎のうんぱく)が掲載されていましたが、神戸といえばジャズです。新開地のジャズも好評ですが、昼間の時間帯であればキャナル運河でも</p> <p>①ジャズ演奏プラスワイン(神戸ワイン)及びビール</p> <p>②水質が良ければですが、タイやはまち等を運河の生簀に放魚し、ゴムボートを出して釣り上げる釣り大会(有料)を開催する。</p>	<p>現在、兵庫運河周辺地域では、兵庫運河祭やレガッタ大会など、イベント開催による兵庫運河の魅力を内外へ発信しています。</p> <p>この将来像でも、イベントを通して、内外の人々の興味を喚起することとしており、意見をいただいた四季を通じたにぎわいあるイベントやジャズ、雅楽などは一意見として、頂戴します。</p>

中央卸売市場西側跡地の活用について		
43	中央卸売市場跡のマルシェ計画には賛同します。兵庫県の地産地消の精神で運営していただきたい。	この将来像では、中央卸売市場本場周辺をにぎわいゾーンとし、本場西側跡地の活用にあわせて、運河の水面も含めた活用により、にぎわい空間を創出すると位置づけています。 西側跡地については、イオンモールが進出する予定であり、地産マルシェの展開や歴史資産への観光サポート、プロムナードの創出など運河を活かした施設づくりが提案されています。 今後、こうした事業者の取組みとも連携しながら、運河を活用したにぎわいづくりを進めていきます。
44	中央市場西側跡地にはイオンモールが参入と決まり、運河との共生を図った計画が進んでいるようですが、平清盛効果で観光客も沢山来神され、この賑わいを永続的なものにする為の施策は講じられているのか。	
中部下水処理場跡地の活用について		
45	中部処理場跡地にホールを建設し、いろんなイベントを開催する。	この将来像では、スポーツ・レクリエーションゾーンとして、当地域の集客拠点であり、スポーツ・レクリエーションの核となるホームズスタジアム、及びレガッタなど水上スポーツの拠点である浜山レガッタコースを中心に和田神社、御崎公園、中部下水処理場跡地など、緑の軸を一体的につなぐことにより、市民だけでなく、地域内外の方も楽しめる空間と位置づけています。 中部下水処理場跡地の活用については、この将来像の検討とは別に、平成23年度に周辺自治会等のワークショップを開催し意見を伺っています。跡地の活用方向としては「人が集う空間」や「緑の空間・多目的空間」を、また跡地の周辺は、兵庫津の道に接する空間を「歴史・文化的な空間」、和田宮神社につながる道路を「参道的な空間」としての雰囲気づくりを、といった意見が出されています。 なお、保育所整備の意見ですが、市より、現状では当地域の保育需要は周辺の既存保育園(神徳館・御崎・運南保育所)でほぼ充足していると聞いております。
46	下水処理場跡地に、保育園、カルチャーセンター、介護施設等を整備するほうがよい。	
47	中部下水処理場跡地に、外郭団体の部活行事、社員教育、研修会、地域の舞踊会、音楽会、芸術の展示等の各種イベント会場として、誰でも気軽に利用できる様な多目的ホールとする。この様な施設を作る事により、地域の活性化と、老・若齢者の多彩な住民交流が可能となる基盤づくり構想への最短の近道であると考えられる。また、若者好みの分譲住宅を2棟程建設し、その近くに保育所・幼稚園を作り、安心して共に働くことが出来る環境作りを整備する。	
48	この地域に欠けている文化施設、だれもが利用しやすいコミュニティ施設のようなものを、中部下水道処理場跡に建設できれば、地域のまちづくりにも役立つのではないのでしょうか。	

ものづくりのまち(産業)について		
49	運河周辺の大企業がどんどん撤退して、関連企業も廃業の憂き目にあい、商店街の客足もさびれる一方です。企業に対して、雇用や地元の活性化を守る立場で、強くもの申して、くいとめるよう、ご尽力ください。	この将来像では、ものづくりゾーンとして、世界に誇るものづくり産業の振興を図るとともに、その技術を広く世界へ発信する産業観光を推進することとしております。 兵庫運河活性化会議では、昨年、和田岬地区において、「“ものづくり”工場まち歩き」を実施しました。今後も引き続き、“ものづくりのまち”として情報発信に取り組んでいきます。 また、製造拠点の撤退のような大規模な事業再編については、市より、「各社の経営上の判断で行われるものと理解している。しかしながら、市民の雇用および市内中小企業への影響を踏まえながら、場合によっては、国や県など関係支援機関と連携することで、必要な対策を協議・検討することも必要であると考えている。」と聞いております。
50	運河周辺には世界に誇るものづくりのまちとして発展し、現在も最先端の技術を有する産業が集積していることが、当地域の特徴のひとつありますが、バンドー化学や富士通テンの工場移転や撤退により、打撃は多大であると思います。企業の事情はあるといえども、神戸市としても残ってもらう努力をするべきであったと思います。地元企業を大切にしてください。	
51	大企業撤退による空地の活用方法や空洞化対策の現状は。広大な空地に企業誘致と雇用確保を行政の力、民間活力で推進してはどうか。	
すまい・人口について(若い世代に住んでもらうために)		
52	高齢者が多く、若い世代が少ない地域なので、若い世代が多く移住してくる、もしくは今すんでいる住民が子供の数をふやし、移住することなくここに住んでもらうには、若い世代の為の計画を構想し実現する必要がある。費用をあまりかけずに実現化する一つの事柄として、和田岬小学校と浜山小学校の統合を望む。	若年層を中心とした人口増加や快適な住環境の整備については重要なテーマであると認識しておりますが、この将来像では、兵庫運河を核とした活性化にテーマを絞った形でまとめております。 小学校の統合については、市より、「和田岬小学校と浜山小学校については、両校とも児童数が減少傾向にあります。現時点では統合の具体的な予定はありません。今後、両校の統合については地域の人口や児童数の推移、地域や学校の特色、通学路や通学時間など多様な面から検討していきたいと考えている。」と聞いております。 また、この将来像で住工共存ゾーンとして位置づけている浜山地区では、「子供からお年寄りまでが、安心して快適に暮らせる住みよいまちづくり」を目指し、土地区画整理事業によるまちづくりが進められており、良質な住宅供給の促進と工場の集約による住工機能の調和した市街地等が形成され、兵庫運河周辺地域の魅力向上につながっていくものと考えています。
53	「工場・居住の共存」はありえない。工場は移転や廃業して、存在しないに等しい。住工共存ゾーンはナンセンスである。 地域を知る人は「下町」「工場地帯」「交通不便」などマイナスイメージが強い。新しい内容の充実した居住地域づくりでイメージを一新せねばならない。	

防災対策について(津波・地震等)		
54	津波については心配です。地下鉄に乗る機会が多いですが、その時に地震が起こればどうい対応をすればよいか、訓練する機会があればうれしいと思います。	現在、運河周辺地域では兵庫県による津波被害警戒区域(暫定)に含まれており、地域津波用マップを作成しているところです。各地域において避難訓練を実施していきますので、ぜひご参加ください。
将来像の具体化について		
55	将来像のイメージはよくできていると思うが、現実化するのはいつか。10年以内が望ましい。	この将来像の実現に向けては、地域住民・地域企業・行政がまちづくりのイメージを共有し、各々の役割のもと、共に協力しながら継続的に取り組む、「協創」により取り組んでいく必要があります。 現時点では、具体的な目標年や工程、費用対効果を定めておりませんが、今後、将来像の実現に向けてご指摘いただいた視点をふまえ、検討していきます。
56	費用対効果を考える 実施時期を段階的に工程を明確にする。 メンテナンス方針をまとめる。(水やり、清掃) 公金の無駄遣いにならないように	
57	ハード面には多大な費用がかかるのでは。完成した後の全体の管理はどこがするのか。	
その他		
58	JR兵庫駅の改札を出てすぐ、東の歴史ゾーンへ行く駅構内の通路が暗く汚く、防犯上もよろしくない。改装が必要と思います。	この将来像では、兵庫運河を核に、「兵庫運河のさらなる活用」、「回遊性の向上」、「周辺資源の活用」の3つのテーマに、まちづくりの方向性をまとめております。東の歴史ゾーン等へと誘うアクセスルートについては、景観面にも配慮することとしています。 駅構内の通路改装の意見については、関係するJR西日本にお伝えいたします。
59	直接、運河の活性化にかかわらない事柄も、たくさん出されました(高齢者、子育て、防災、緑化、商店街など)。範囲も広いし、いろんな分野にわたっており大変ですが、せつかくの意見を、引き続き話し合えるような場を設定していただけないでしょうか。兵庫運河活性化会議の性格上無理であれば、別の方法でも結構です。	兵庫運河活性化会議は、兵庫運河の適正な保全と活用並びに新たな整備について検討し、兵庫運河を核にした魅力ある地域づくりの実現を目的とし、設立しております。 意見の中の高齢者、子育て等の話し合いの場は他の団体で行われていることから、当会では話し合いの場をもつことは考えておりません。 なお、緑化については将来像にも示されており、今後実施していく予定としております。